

令和6年度 大学・附属学校園連携事業推進経費 成果報告書

所属名	大阪教育大学附属天王寺小学校
研究課題名	国語科における真正の学びの実現 ～現代的な課題解決による主体性の育成～
研究課題概要	本研究での目的は、国語科の学習において自分たちの社会と密接するような真正の課題を設定しPBL学習を行うことで、児童が物語を読む意味や意義を自分たちで見出し、主体性を発揮して創造的な学びを生み出す姿が期待できるのではないかという仮定を実証することである。また、現代的な課題でもある紙の本の売れ行きが悪いという書店側の課題解決の一助となるような取り組みを行う中で、課題解決の方策として自分たちが魅力を伝えるために作品を読解するという動機づけを設定し、読書に親しもうとする姿もねらいとしている。 本研究では6年生総合のテーマであるキャリア教育の側面と現代的な課題を取り上げ、実際に社会に参画するという真正の学びのアプローチを構想している。児童の内発的動機付けを触発させる手立てとして、作品を展示する場(書店)を設けるための交渉を自分たちで行い、書店で働く方の思いや書店ごとの特徴などに触れさせることで、責任感や達成感を感じることができるようにした。また、ステイクホルダーとの連携を行い、コピーライター・デザイナーの方から、手続きの知識を学ぶことで、相手に伝えるための表現の工夫についても意識させた。 このように、ステイクホルダーも含め、実際の社会で働く人との交流や、社会参画を行う場設定を行うことで、教室の中での学びだけでは見取ることが難しい児童の主体性や、創造性を発揮する姿の表出を本研究の主な研究課題とする。 さらに、本研究で関わった書店側からの評価や購入者からの評価も加味しながら、本研究の成果について分析をしていく。 国語科の学習における資質能力の向上、ひいては深い学びを実現するために、キャリア教育と現代的な課題の解決にフックをかけることで、教科の枠を超える汎用的な能力(コンピテンシー)が向上する兆しがみられるような実践をめざす。また、書店に展示するという社会参画を行う中で、未知の課題解決に臨む創造的な思考・態度を育むことも視座している。
研究課題の構成員 (リーダーに※)	大久保亨(天小)、村井隆人(大阪教育大学)

※様式は頁数が増えても差し支えありません。